

令和 7 年度 定期総会及び福岡支部総会のご報告

去る 7 月 20 日(日)、ソラリア西鉄ホテル福岡にて令和 7 年度定期総会ならびに福岡支部総会を開催いたしました。

前日 19 日(土)には、JR 内野カントリーにて親睦ゴルフコンペを実施し、36 名の同窓生にご参加いただきました。酷暑の夏にもかかわらず、当日は曇り空で比較的穏やかな気候に恵まれ、全員無事にホールアウトいたしました。

総会には、308 名の同窓生と 5 名のご来賓をお迎えしました。福岡支部総会、定期総会に続き、英進館株式会社社長・36 回生の筒井俊英君に「打てば響く鐘」のタイトルで講演をしていただき、長時間にわたり入念に準備していただいた多彩な内容の講演は、参加者から大変好評を博しました。

懇親会は、36 回生でグラミー賞受賞歴を持つジャズベーシスト・脇義典君と、久留米出身のピアニスト田中菜緒子さんによる二重奏「Yours is my heart alone」で華やかに開幕しました。

本年のスローガンは「揺籃地」。登壇者の皆様には、「ご自身にとっての附設という揺籃地」をテーマにひとことお話しいただきました。講演者の筒井君を含め、快く応じてくださり、それぞれの想いや考えを語っていただいたことは、大きな共感を呼びました。

また「漆黒の揺籃地」と題した AI ゲームも実施し、厳正な抽選で選ばれた 10 名の同窓生がクイズに挑戦しました。担当の山口征啓君の懇親会直前に及ぶ粘り強い準備の甲斐もあり、会場を大いに盛り上げる企画となりました。

結びには、懐かしの名曲 2 曲の演奏に続き、生演奏をバックに校歌斉唱と我々の恩師である白水孝典教頭による万歳三唱をもって閉会いたしました。

今回の開催にあたり、吉田清隆会長を中心とする本部役員の皆様、実藤光二郎福岡支部長をはじめ、多くの先輩・後輩の皆様の助力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。また改めて、同級生の絆と有り難さを強く感じた総会となりました。

来年度は 37 回生が幹事学年を務めます。福岡がさらに盛り上がるよう引き続き尽力してくれることと思います。皆様、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

36 回生幹事長
松浦 愛二